

【講義9】

オーテピア高知声と点字の図書館の紹介： オーテピアの点字図書館・公共図書館の連携について



オーテピア高知声と点字の図書館
OTEPIA Kochi Talking Book & Braille Library

館長 坂本 康久

令和3年12月10日

令和3年度 障害者サービス担当職員向け講座

「オーテピア」について



ここから。
私の世界が
つながる、広がる

オーテピア

平成30年(2018年)
7月24日(火)開館

オーテピア高知図書館
OTEPIA Kochi Library

オーテピア高知声と点字の図書館
OTEPIA Kochi Talking Book & Braille Library

高知みらい科学館
Kochi MIRAI Science Center

詳しくはこちらをご覧ください
オーテピア 検索

オーテピア

高知県・高知市が共同で整備。

高知のすべての人へサービスを提供

名称は公募により決定。所在地の「追手筋(おおてすじ)」と仲間の「ピア」から。

オーテピア高知図書館

高知県立図書館・高知市立市民図書館共同運営

オーテピア高知声と点字の図書館

高知市が運営。運営費の半分を高知県が負担

高知みらい科学館

高知市が運営。運営費の半分を高知県が負担

赤ちゃんから高齢者まで、外国の人、障害のある人もない人も

ダイバーシティ

高知のすべての人のために—。

インクルージョン

あなたを支える情報拠点として、様々な人々との交流の場として
「オーテピア」が開館します。

ダイバーシティ(多様性)をインクルージョン(包摂)する⇒誰もが排除されない



オーテピア高知図書館

OTEPIA Kochi Library

TEL:088-823-4946 FAX:088-823-9352

オーテピア高知声と点字の図書館

OTEPIA Kochi Talking Book & Braille Library

TEL:088-823-9488 FAX:088-820-3218

高知みらい科学館

Kochi MIRAI Science Center

TEL:088-823-7767 FAX:088-824-8224

オーテピアのバリアフリー対応

☆キーワード

ダイバーシティ (diversity) = 多様性

インクルージョン (inclusion) = 包摂

すべてを包み込む (誰もが排除されない)

「本」を読むことが困難な人へのサービス

(=読書バリアフリーサービス)

読書が困難な人とは？

各種手帳や診断書などが必須ではない。読書が困難ということが要件。

《想定される障害など》

12	活字をそのままの大きさでは読めない。
13	活字を長時間集中して読むことができない。
14	目で読んでも内容が分からない又は内容を記憶できない。
15	身体のみひ等により、資料を持ったりページをめくったりできない。
16	その他原本をそのままの形では利用できない。 (理由)

視覚障害(全盲、ロービジョン)、高齢、眼病など

視覚障害(ロービジョン)、高齢、眼病、精神・発達・高次脳機能障害など

高齢、知的・発達(特に学習障害)・高次脳機能障害、聴覚障害(手話母語)など

上肢障害、障害・高齢等で寝たきり、脳出血等によるみひなど

役割分担・連携

オーテピア高知図書館

オーテピア高知声と点字の図書館

- 同一施設内だがそれぞれ違う組織
 - ▶ 障害者（特に読書が困難な人）へのサービスをどのように役割分担・連携して実施するか

(サービスの前提となる共通認識)

- 県内の視覚障害, 高齢, 病気その他の障害等で読書が困難な人の
読書・情報環境の充実を目的とする。
- そのために,
高知図書館と声と点字の図書館併設のメリットを活かせるよう,
相互に補完・連携・協力し,
効率的・効果的にサービスを提供できる仕組みを構築

所蔵資料により役割分担

オーテピア高知声と点字の図書館

- 所蔵資料: 点字図書, 録音図書, マルチメディアデイジー図書等の著作権法により利用者が限定されるバリアフリー図書
- サービス: 前記資料に関するサービス

オーテピア高知図書館

- 所蔵資料: 大活字本, LLブック, 布の絵本, さわる絵本等の利用制限のないバリアフリー図書(県立所蔵の録音図書等は声と点字の図書館へ移管)
- サービス: 前記資料に関するサービス及び一般資料の利用に係る障害者サービス

オーテピアでの図書館・点字図書館の連携・協力のコンセプト

図書館・点字図書館という垣根をなくして、「オーテピア」として一体的に障害者サービスを提供

「オーテピア」読書 バリアフリーサービス 読書をサポートする、いろいろなサービスがあります！

※ **点** は声と点字の図書館、
図 はオーテピア高知図書館
で利用できます。

おす
すめ

大活字図書



LLブック



マルチメディア デージー図書



録音図書 (デージー図書)

ベストセラーや時代小説など幅広いジャンルの本があります。デージー図書を読むための再生機も貸し出しています。



点字図書



布絵本・さわる絵本



●録音・点字図書郵送 貸出サービス **点**

録音・点字図書をご自宅へ郵送します。

●宅配貸出サービス **図**

病気・障害などにより、お近くの図書館への来館ができない方に本やCDをご自宅や病院までお届けします。

●対面音訳サービス **点 図**



来館者に様々なバリアフリー図書やサービスがあることを知ってもらう、体験できる

声と点字の図書館

- 誰もが気軽に入れるように1階エントランスホール正面に配置(一般の人に知ってもらいたい)
- 各種バリアフリー図書や視覚障害者用福祉機器を展示, 体験できる。(当事者だけでなく家族や関係者も)

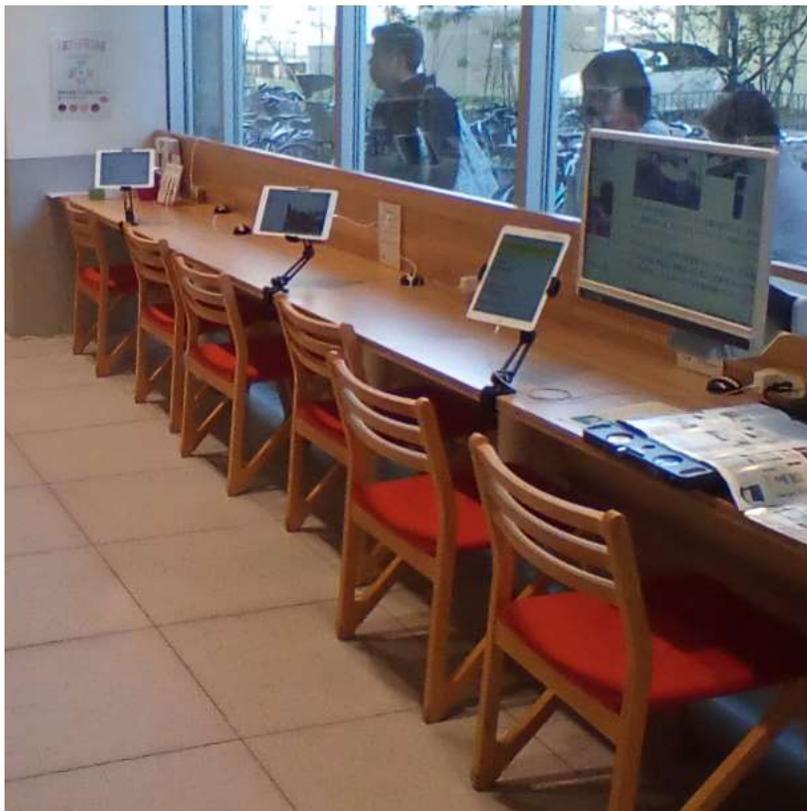
図書館

2階入口付近にバリアフリー資料コーナー(大活字, LLブック, 布の絵本)や, パソコン入力補助装置などの障害者情報支援機器コーナーを設置

1階 声と点字の図書館閲覧室



各種デジタル図書閲覧コーナー (iPad, プレクストーク)



デイジー図書, 視覚障害者用ソフトPC, 視覚障害者用福祉機器など



2階 バリアフリー資料コーナー



さまざまな資料・機器を展示した「バリアフリー資料コーナー」が2階にあります。



視線入力装置

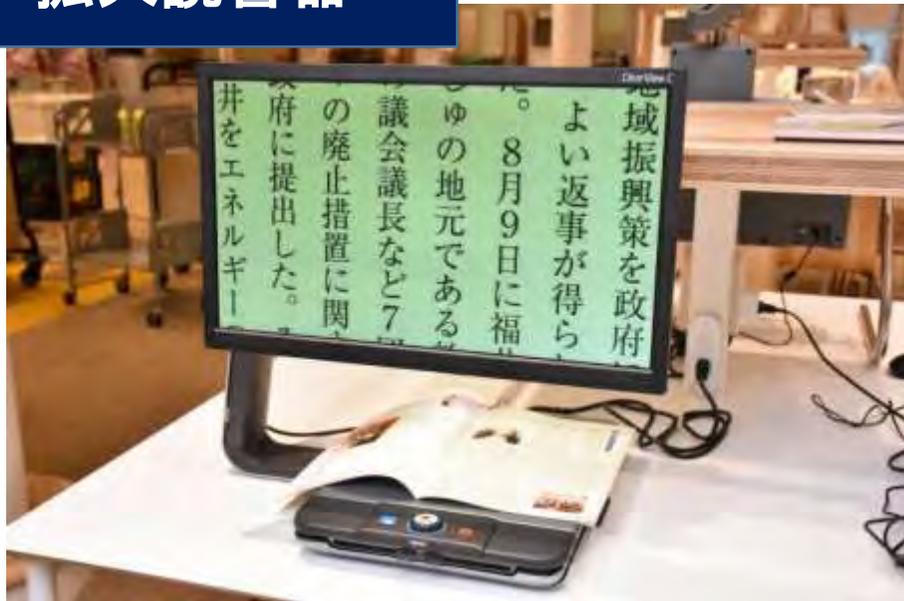
ジョイスティック

ジェリービーン
ンスイッチ

ビッグスイッチ

フットスイッチ

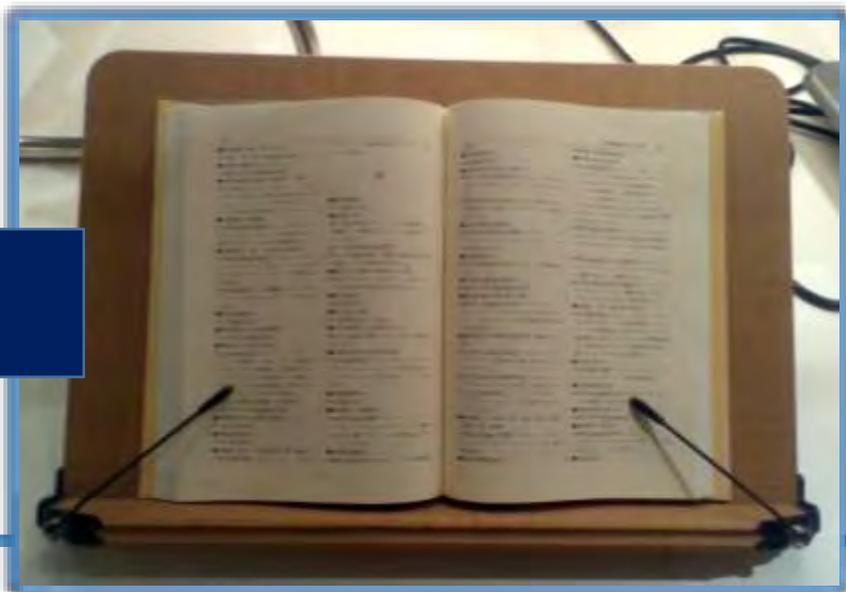
拡大読書器



自動ページめくり機



書見台



上肢装具 アームサポート MOMO



資料だけではなく読める環境も提供

デジター図書再生機貸出(読めないことにははじまらない)

- デジター図書を利用するための機器(デジター図書再生機・アンドロイドタブレット・iPad)を購入し、長期貸出サービスを開始した。
- デジター図書再生機 178台(うち 寄付58台)
(2021.3月末 貸出中116台)
- iPad 35台(団体貸出用:主に特別支援学校へのマルチメディアデジター閲覧)
- アンドロイドタブレット 20台(個人貸出用マルチメディアデジター閲覧)

アウトリーチサービス充実 (県内どこでもサービスを提供)

県内どこでも
出向きます



「オーテピア号」
廃止になった高齢
者施設から移管

- ・電話, ファックス, メールで利用登録可
- ・デイジー図書を読むための再生機やタブレットの貸出
- ・ご自宅へ訪問しての再生機貸出, 操作指導,

トラブルサポートも実施

- ・重度視覚障害者への点字図書、録音図書郵送
- ・デイジー図書データ(USBメモリ)郵送サービス

※重度視覚障害者以外の方にもデイジー図書を自宅へ郵送

2「見えない」「見えにくい人」へのサポート

- ・視覚障害者用福祉機器や便利グッズの展示・紹介, 相談指導
- ・見えない、見えにくいことの困りごと相談

ルーペ類



拡大読書機



視覚障害者用福祉機器、
便利グッズなど



新規登録者数

()内は(高知市:高知市以外)

ほとんどの人が録音図書(音声デージー図書)を利用。発達障害、知的障害等の児童はマルチメディアデージー図書を利用。

年度		平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
新規登録者		85人(47:38)	62人(39:23)	44人(24:20)
内 訳	視覚障害者 (手帳有)	47人(21:26)	27人(18:9)	31人(16:15)
	その他の障害 (手帳等有)	22人(16:6) (肢体不自由等 13, 知的1, 精神 3, 発達 4, その他1)	16人(9:7) (肢体不自由等5, 発達障 害5, 知的3, 精神1, 聴 覚1, その他1)	4人(3:1) (肢体不自由等 2, 発達 障害 1 , 聴覚 1
	読書困難	16人(10:6) 小さい字や長時間の 読書が困難等14, 読 字困難2	19人(12:7) 小さい字が読めない13 (眼病8, 高齢5), 長時間 読書が困難 4, 読み書き 困難 2	9人(5:4) 小さい字が読めない 6 (眼病等4, 高齢2), 長 時間読書が困難 2 , 読み書き困難 1

新たな取り組み 1(令和元年度から)

特別支援学校, 福祉施設, 医療機関, 市町村図書館へのバリアフリー図書や再生機のセット貸出(登録数53団体)



さくらバリアフリー文庫

身近な場所にバリアフリー図書を!! 様々な理由で「本」を読むことが難しい人が多くいます。



すべての人を「本」の世界へ

- 視覚障害や学習障害などで文字を読むことが難しい方
- 高齢・病気などで小さい字が読めない方
- 寝たきりや手指に障害があって本が持てない方 など

オーテピアでは **オーテピア高知図書館** と **オーテピア高知声と点字の図書館** が協力して、読書が困難な方が身近な場所で読書を楽しめるサービスをはじめました。

いろいろなバリアフリー図書で読書をサポートします。

大活字本 	LLブック 	録音図書(デージー図書) <small>おすすめ</small> ベストセラーやミステリー、時代小説など幅広いジャンルの本がたくさんあります。デージー図書を読むための再生機も貸出しています。 	マルチメディアデージー図書 
点字図書 	布絵本・さわる絵本 		

バリアフリー図書や再生機等のセットを貸し出すことで、身近で利用できる環境を提供します。

(1) 障害・高齢等福祉施設
特別支援学校・医療機関等
問合せ先:オーテピア高知声と点字の図書館

(2) 県内市町村図書館
問合せ先:オーテピア高知図書館

オーテピア高知図書館
OTEPIA Kochi Library
企画調整課 バリアフリーサービス担当
TEL 088-823-4946 FAX 088-823-9352



オーテピア高知声と点字の図書館
OTEPIA Kochi Talking Book & Braille Library
TEL 088-823-9488 FAX 088-820-3218

新たな取り組み 2(令和元年度から)

眼科医療機関・視覚障害関係機関との連携・協力

ロービジョンケア紹介リーフレット(眼科で手渡し)

見えにくいことでお困りの方に
高知県内の適切な情報をお届けします

医療機関記入欄
病名
視力: 右眼=
左眼=
視野: 中心暗点・求心性視野狭窄
所持眼鏡の種類: 遠・近・遠近
その他
日付: 年 月 日
施設名:

メモ:

相談窓口

オーテピア
高知声と点字の図書館
088-823-9488

視覚障害者向け機器展示室
ルミエールサロン
088-823-8820

高知市障がい福祉課
088-823-9378

高知県立盲学校
088-823-8721

見えにくくてお困りの方へ



「高知家のいっぽ」
発行: 高知県眼科医会
協力: 高知県・高知市

高知県ロービジョンケア紹介リーフレット

見えにくいことであきらめていませんか? 「やってみたい」を相談できる窓口があります

- 読みたい・書きたい
- まぶしさをなんとかしたい
- 安全に歩きたい
- 運動不足を解消したい
- 仕事を続けたい
- 学校、仕事の相談をしたい
- 子どもの見え方の相談をしたい
- 便利な機器、生活の工夫を知りたい
- 調べたい



いろいろな制度、サービスを知りたい方は市町村役場にご相談ください。
ロービジョンケア各種情報は相談窓口、またはQRコードで  

新たな取り組み 3(令和2年度から)

《県内市町村図書館における読書バリアフリーサービス実施を支援》

読書バリアフリーサービス基礎講座(令和2年度開催 4館)

- ・県内市町村図書館への出前講座(2020年度4館実施)
- ・対象:図書館職員、図書館主管課・高齢障害福祉担当職員)
- ・内容:読書バリアフリー法とは? 読書困難者とは? バリアフリー図書とは? サービスの実際(サピエ図書館活用デモンストレーションなど)

できることから始めよう! 読書バリアフリーサービス



新たな取り組み 4(令和2年度から)

「バリアフリー図書のご案内」パンフレットの配布(2020年11月～)県内市町村での身体・知的・精神各障害者手帳の交付時に配布



“読書”をいつまでも

「本」はわたしたちに、様々な知識や情報、そして心の豊かさをあたえてくれます。しかし、障害・病気・ケガ・高齢など、いろいろな理由で本を読むことが難しい人も多くいます。オーデビア高知声と点字の図書館は、高知のすべての人がいつまでも読書を楽しめるように、読書が困難な人をサポートします。

オーデビア高知声と点字の図書館
OTEPJA Kochi Talking Book & Braille Library
 高知県高知市道手筋2-1-1

TEL.088-823-9488
 FAX.088-820-3218 Mail:tk-120200@city.kochi.lg.jp

☑️ オーデビア駐車場有 最初の1時間無料(1時間以降30分毎に100円)

あなたの読書をサポートします!!

読書にお困りの方へ

バリアフリー図書のご案内



オーデビア高知声と点字の図書館
OTEPJA Kochi Talking Book & Braille Library

こんなことで不自由さを感じていませんか?

- ・長時間集中して読むことができない
- ・活字をそのままの大きさでは読めない
- ・文字や文章を認識、理解することが難しい
- ・本を持つことやページをめくることが困難

ぜひ、ご連絡ください。県内どこでも図書・再生機をお持ちします。

おためしバリアフリー図書体験
TEL.088-823-9488

バリアフリー図書で読書を楽しんでみませんか?

声と点字の図書館では、読書が困難な人が読めるように工夫された本を貸出しています。電話で利用登録や貸出申請ができます。図書の郵送サービスもあります!



かんたん便利!どこでも読書!

携帯型録音図書再生機

※録音図書、マルチメディアデジター図書の利用は読書が困難な人が対象です。



読書が困難な子どもさんに

マルチメディアデジター図書再生タブレット

録音図書(音声デジター図書)



録音図書専用再生機も貸し出しています

活字図書を音声で録音した図書です。その数は10万タイトル以上。本棚大賞などのベストセラーやミステリー、時代小説、ノンフィクションなどいろいろなジャンルの本があります。週刊誌などの雑誌もあります。

マルチメディアデジター図書



音声サポート付きの電子書籍、知判・字割障害などで文字を読むことが苦手な人もわかりやすく読めます。デジター活字図書を読むことに障害がある人が利用しやすいデジタル図書の国際標準規格

録音図書、マルチメディアデジター図書はお手持ちのパソコン・スマホ・タブレットでも読めます

サビエ図書館とは

インターネットで録音図書やマルチメディアデジター図書が利用できます。

詳しくは **サビエ図書館** [検索](#)

県内どこでもサービスをご利用いただけます!

サービス内容

- 図書の郵送貸出(送付・返却)サービス
- 録音図書再生機・タブレットの宅配サービス
- サビエ図書館、録音図書再生機、パソコン、スマホ、タブレットでの利用方法などの訪問サポート

全サービス無料

お気軽にご相談ください **TEL.088-823-9488**

令和3年度の取組みについて

今後の取組の大きなテーマ:

読書が困難な人が手軽にバリアフリー図書を利用できるしくみづくり

読書バリアフリー法関連の国の補助事業：障害者ICTサポート総合推進事業を活用



(1) 携帯型デジプレーヤ貸出(40台)

簡単操作でいつでもどこでも手軽に読めます！

高齢の方など既存のデジプレーヤーの操作が難しかった方にも！

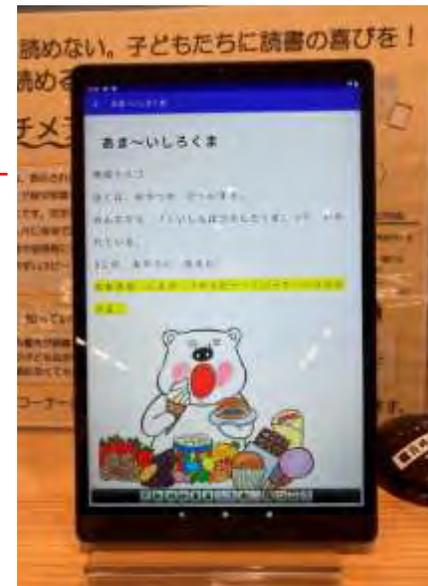
(2) マルチメディアデジ再生用タブレット貸出

アンドロイドタブレット20台, iPad15台

タブレットをお持ちでない家庭も多い。マルチメディアデジ

図書で読書が困難な児童の幼少期からの読書習慣形成をサポート！

柴田ケイコさんの絵本もあります。(声と点字製作)



(3) 触察3Dモデル貸出

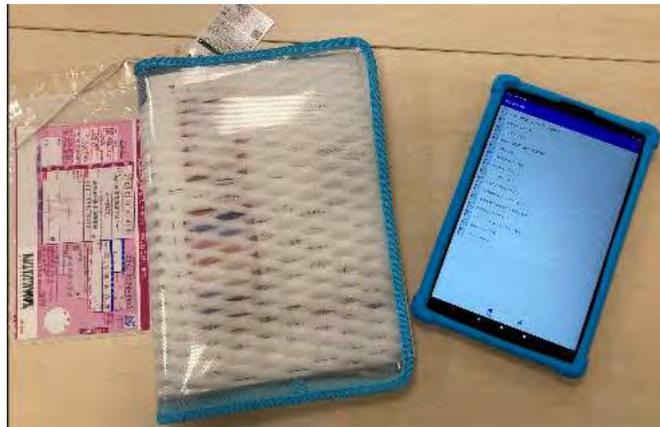
さわってわかる資料として、有名建築物(タージマハル, ノートルダム寺院, サグラダ・ファミリア, 国会議事堂などの有名建築物13種26点)の3Dプリンタ造形モデルを貸出。

※3Dモデル提供 大学入試センター南谷准教授「触察3Dモデル提供サービス」

<https://3d4sdgs.net/service.html>

(4) 携帯型録音図書再生機, タブレット, 3Dモデル郵送・宅配サービス

障害や遠方で来館困難な方も利用できるように、携帯型録音図書再生機、タブレットについては、貸出図書データの入った本体をご自宅へ郵送・宅配します（送付・返送とも無料）



ボイスペン
ケースに貼ってあるシールに
触れると建物概要等の音声
ガイドを再生

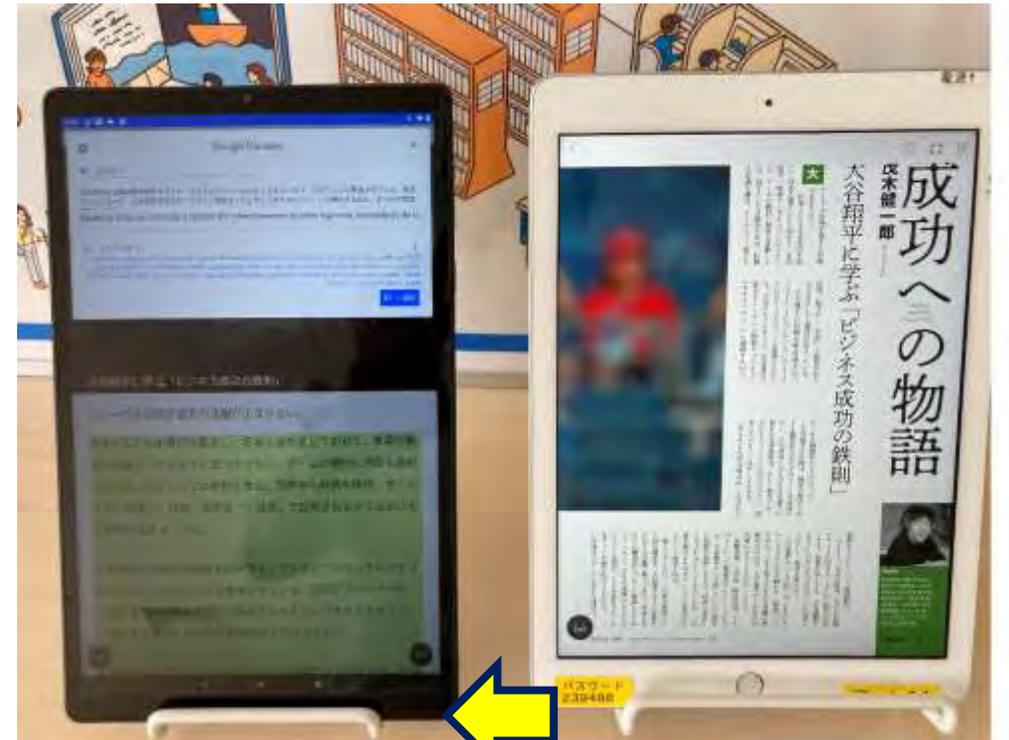
読書に障害のある人もない人もない人も楽しめるコンテンツ

電子雑誌の定額読み放題のサービス

図書館向けのサービスもあり、オーテピアでは図書館・声と点字の図書館共同でトライアル導入開始

【特徴】

- ・PDFタイプの電子雑誌を通常の閲覧モードのほかに、AIで自動解析して、webテキスト形式での情報に変換した閲覧モードを提供
- ・音声読み上げ、文字拡大、白黒反転などかなりアクセシブル
- ・台湾、香港、アメリカなどの雑誌も多数
- ・多文化サービス活用(翻訳機能を使って日本語⇔外国語)
- ・記事の全文検索機能



(テキストと画像が上から下に順序良く整理されている)

最大の強敵だと思っていた電子雑誌がアクセシブルなフォーマットに！
まだまだ十分ではないが、フィックスタイプの電子書籍への対応など発展性があると感じています。

米国リハビリテーション法第508条

連邦政府に対し、電子・情報技術の調達に関し、障害のある人も利用できるアクセシブルなもの（アクセシビリティ・スタンダードに準拠したもの）でなければ調達・導入してはならないということを規定

メーカーに対する義務づけではない⇒しかし、スタンダードに準拠した製品でなければ、メーカーは連邦政府に対して販売ができない⇒様々な製品がアクセシブル⇒スマホ、タブレットなど米国製（iPad、アマゾン）は障害者配慮が標準搭載。

（参考文献：「ノーマライゼーション 障害者の福祉」 2002年3月号

米国リハビリテーション法508条 —内容と影響— 加美山慎一

https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/prdl/jsrd/norma/n248/n248_07.html）

素人意見ですが

電子書籍サービスなど「アクセシビリティ配慮がないサービスは導入しない」などの図書館自主規制を設けてはどうでしょうか？

第2期(令和4年度～8年度) オーテピア高知声と点字の図書館サービス計画(素案)概要

「みんなでつなぐ  読書バリアフリー!!」

基本理念

すべての人を『本』の世界へ

「読書が困難な人」の生涯学習や文化活動、暮らしや仕事の中で起こる様々な課題解決を支援します。誰もが同じように、読書や様々な情報を利用することができる社会の実現に寄与することを目指します。

基本方針

- I 読書が困難な人の読書・情報環境の充実読
- II 視覚に障害のある人の生活を支援する情報提供の充実
- III 県民・市民との協働による読書・情報サービスの充実

計画の推進
のために

次の点に留意し、
取り組む

エンパワーメント (empowerment、エンパワメントとも) とは？
エンパワーメント (湧活) とは、人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、
人が本来持っているすばらしい、生きる力を湧き出させることと。

(1) 読書バリアフリーは共生社会実現の重要な基盤⇒ 読書は、教養や娯楽を得るだけでなく、教育や就労を支える重要な活動

+

(2) エンパワーメントを意識した取組を⇒
障害のある人の社会参加の促進や自己実現など、その人が自分の人生を生きていくことを
応援し、力になれるように。

=

人間は一人ひとりがすべて異なる存在であり、
この違いをかけがえのないものとして受けとめ、
互いが理解し合い、共に生きる「共生社会」
の実現に寄与

「ダイバーシティ」 (多様性)

「インクルージョン」
(包摂。すべてを包み込む
⇒誰もが排除されない)

障害者サービスアンケート調査

高知図書館と声と点字の図書館による障害者サービスアンケート調査を実施。特別支援学校、障害・高齢者福祉関係(団体, 事業所)92か所を通じて調査を依頼。

実施時期 令和2年9月23日～10月13日 実施状況配布数:1,000部 回収数:610部 回収率:61.0%

○読書困難者について

困難理由設問(①活字大きさ ②長時間読書困難 ③内容記憶 ④持つめくる ⑤その他本、雑誌利用困難)※複数回答

- 視覚障害を除く各種障害別の読書困難者の割合については、身体障害(24.9%)、知的障害(37%)、精神障害(30%)となっている。(困難理由 ①26.9% ②51% ③34.6% ④6.7% ⑤34.6%)
- 障害者手帳を持っていない人における各年代別の読書困難者の割合は80歳代(57.5%)、70歳代(46.8%)、60歳代15.4%)となっており、70歳以上の高齢者の約半数が読書に不自由さを抱えていることがわかる。
(困難理由 ①50% ②54% ③37% ④5% ⑤18%)

2 みんなでつなぐ 読書バリアフリー!!

(第2期重点項目)

県内全域の読書が困難な人の読書・情報環境を向上させるために・・・
これからの「高知県の読書バリアフリー」の実現に必要なこと

◎読書が困難な方が身近な地域で気軽にサービスを利用できる状況

→ (1) 県内全市町村図書館での読書バリアフリーサービスの実施

◎読書が困難な人と図書館・声と点字の図書館とをつなげるしくみづくり

→ (2) 読書が困難な人が多く利用する施設等（福祉、教育、医療機関など）との連携・協力体制の構築

この2つが達成できて、はじめて潜在化している読書困難者がバリアフリー図書を手軽に利用できる状況になると考えます。

第2期サービス計画では、(1)、(2)の実現に向け重点的に取り組めます。

◎市町村図書館のバリアフリーサービス実施へのサポートや連携・協力体制，支援事業の実施

県内の市町村図書館は，人員体制や予算規模なども様々。それぞれの実情に合わせて必要な支援や連携・協力の方法を協議し，各図書館で無理なくサービスが実施できるようにサポートします。

- ・利用者用録音図書再生機・タブレット等の図書館への貸出
- ・サピエ年会費，郵送サービス経費等の補助などの支援

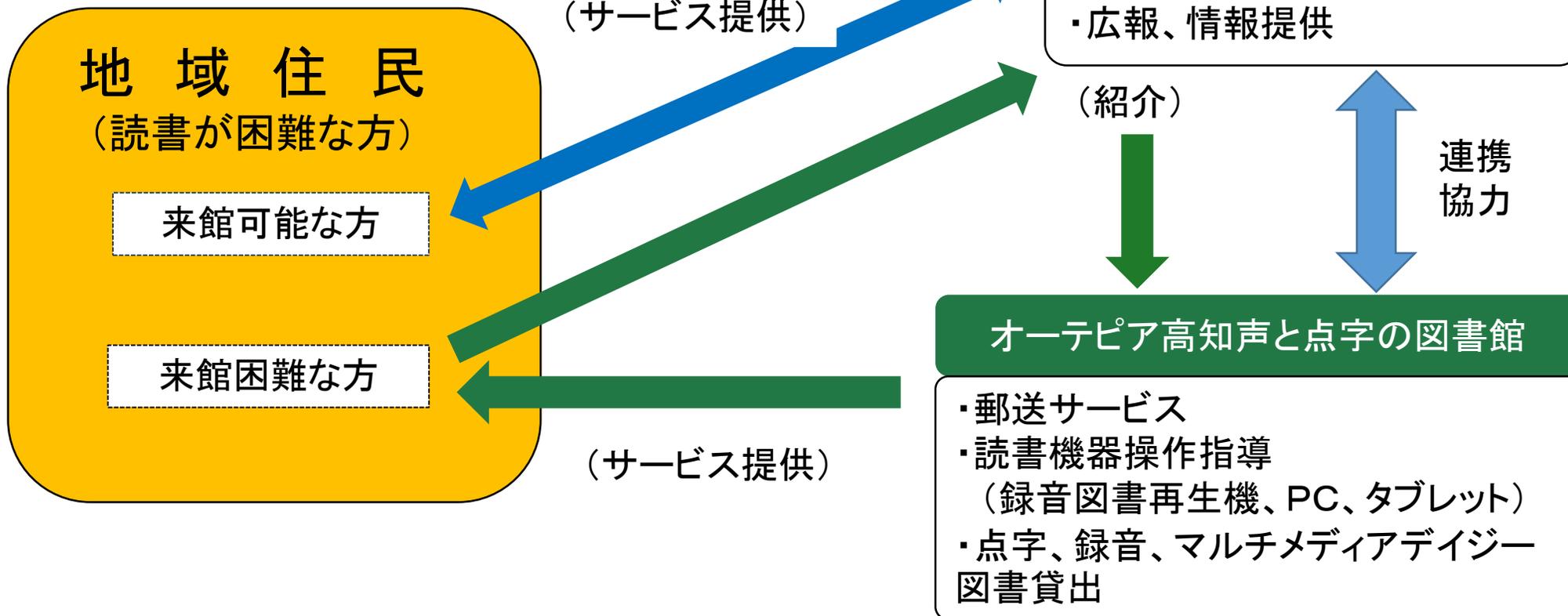
(声と点字の図書館・市町村図書館「読書バリアフリー連携」モデル事業
令和4年度4館程度実施予定)

サービス実施イメージ

図書館・声と点字の図書館が連携・協力して地域の読書が困難な方へサービスを提供

基礎講座概要

※来館可能者(図書館)・来館困難者(声と点字)で役割分担した場合



※各図書館の実情に合わせてサービスメニューを設定

※図書館実施サービス以外を補完

利用登録者への聞き取り調査

・実施期間 令和元年度～2年度 ・聞き取り実施者 100名

登録経緯	人数
オーテピアに来館して知った	19
福祉関係イベント等での出前図書館	4
知人・家族からの紹介	16
教育・福祉関係者等からの紹介	15
眼科・その他医療機関からの紹介	18
ルミエールサロンからの紹介	15
公共図書館からの紹介	5
新聞記事を見て	2
ホームページ	1
その他	5
合計	100

関係機関等からの紹介が極めて有効!!

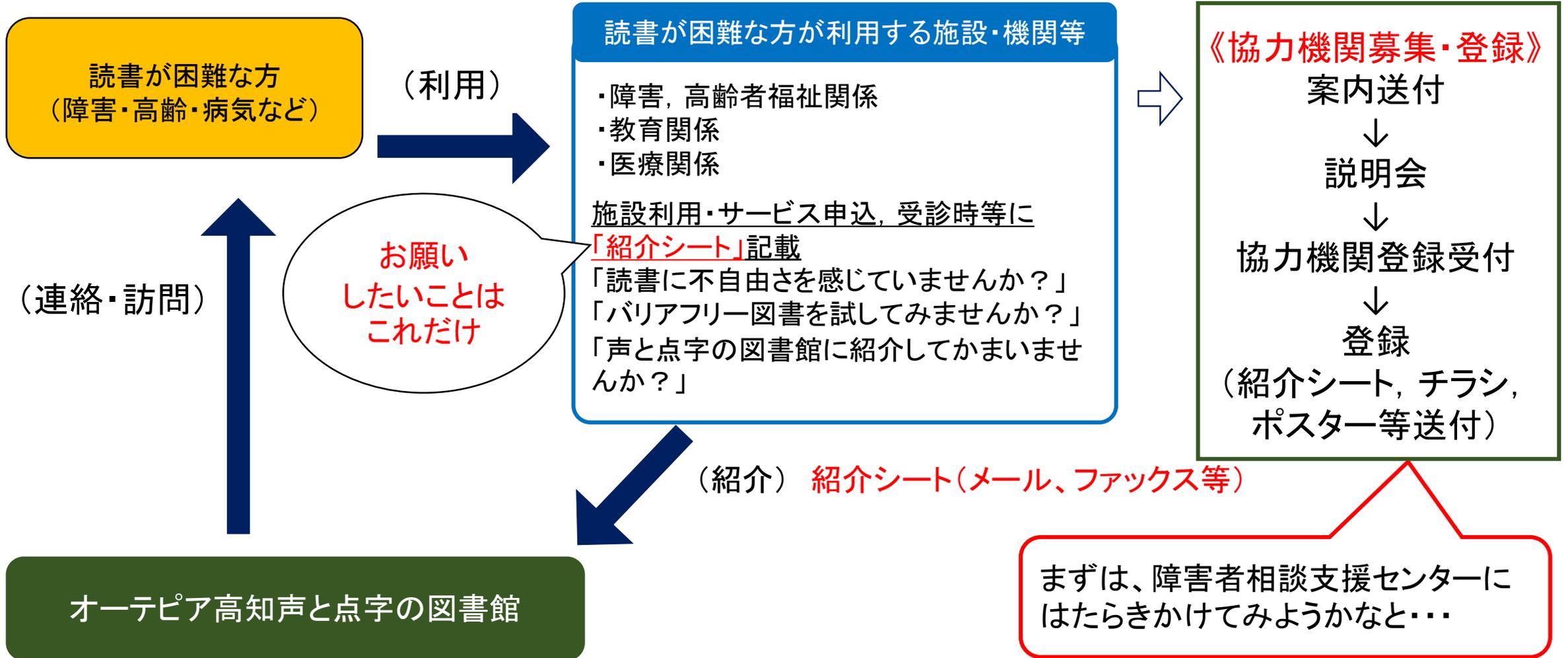
48人

◎読書が困難な人が多く利用する施設等（福祉、教育、医療機関など）との連携・協力体制の構築

- 読書困難者のほとんどの人がバリアフリー図書やサービスの存在を知らない。
- 知ったとしても、障害などで利用申し込みの電話連絡も簡単ではない。また、馴染みがない施設等に人は気軽に連絡しづらい。
- 自らサービスを利用する行動を起こす人は少ない。
- 「利用に至った経緯」については、医療・福祉・教育関係の施設、関係者からの紹介が全体の48%を占めている。
- 読書困難者が多くかかわる機関等との連携・協力が利用者拡大に極めて有効だと考えられます。

「みんなでつなぐ♡ 読書バリアフリー!!」 協力機関募集

取組(参考案)



みんなでめざそう!!

誰もが読める高知県



県内図書館

読書バリアフリー
サービス
実施図書館



※到達イメージ

活字図書での読書が困難
な方へ

お近くの図書館にご相談ください。
図書館があなたの読書をサポ
ートします。

大学図書館や学校図書館でも読
書バリアフリーサービスを実施



めざせ、誰もが読書を楽しめる日本!!
ご清聴ありがとうございました。